

10月20日（日）12時から17時まで広島県呉市にある農事公園グリーンヒル郷原で題記の発表会を開催しました。小雨が降り、少し肌寒い気候でしたが、山口県、島根県、岡山県など中国地方の園芸福祉の仲間がおよそ50名集いました。



野呂山学園見学風景

12時から受付を開始して12時30分から1時間ほど、会場近くの障がい者支援施設・野呂山学園さんのご好意によって(<http://www.norosangakuen.or.jp>)、園内を見学させていただきました。大温室の中には年間30万鉢も販売される花々が綺麗な色で温室の中を満たしていました。小田原業務部長さん(ひろしまね園芸福祉協会代表)のわかりやすい説明を聞き、また、実際に播種作業などをする現場にも案内していただき、発表会の前の心の準備が十分整いました。

13時40分から、日本園芸福祉普及協会理事長の吉長先生からご挨拶をいただきました。



吉長理事長のご挨拶

10分の休憩をはさんで、いよいよ事例発表が15時前から始まりました。今日は3つの発表で、植える美ingひろしまの大石勝利さんが「小学校における園芸福祉活動」を、みよし園芸福祉ネットワークの末迫秀夫さんと新家加世子さんが「3年目の活動の現状と課題」を、また、植える美ingひろしまの堂本正直さんが「園芸福祉による地域交流」を発表されました。4名の方々がそれぞれ、熱く活動様子を語ってくださり、質問も出て、会場は熱気に包まれ、窓ガラスが曇っていました。

最後に今回来られたお一人お一人がそれぞれ、近況を報告してくださいました。会場には感嘆の声や笑い声が起こって、植物と人々の絆が人々の新しい繋がりを生んでくれました。

その後、研修として日本園芸福祉普及協会理事の高松様より「園芸福祉活動でのハーブの機能性と活用法」と題してご講演いただき、最後の20分ほどでお勧めのホットハーブティーとクッキーを試食させていただいて、みなさん心も喉も潤ったとおっしゃっていました。



高松理事の講演



ハーブティー&クッキー



大石さんの発表



末迫さんと新家さんの発表



堂本さんの発表



吉長理事長のご講評をいただきました



参加者全員による近況報告会・交流会の様子

以上